

**エムズシステム**  
M's system

# MSシリーズ取扱説明書

スピーカー MS1001 シリーズ / RS0802 シリーズ



MS1001 シリーズ



RS0802 シリーズ

■ 付属品



スピーカーケーブル  
(1.5m × 2本)



スピーカースタンド  
(木板2枚、クサビ4本、  
フェルトシール4枚)

スピーカースタンドの組立方法の動画です。



誰でも簡単!  
スピーカースタンドの組立方法  
お手持ちのスマートフォンからQRコードを読み込んでご覧ください。



■ 端子板

ライト(右)

レフト(左)



接続方法は中面の【スピーカーケーブルの接続方法】をご確認ください。

## オリジナルアンプ MS-Amp12



MS-Amp12  
(本体)

■ 付属品



ACアダプター (12V / 3.8A)



オーディオケーブル ①  
音声用端子 (RCA 端子)



オーディオケーブル ②  
イヤホン/ヘッドホン端子  
(3.5mm ステレオミニ端子)

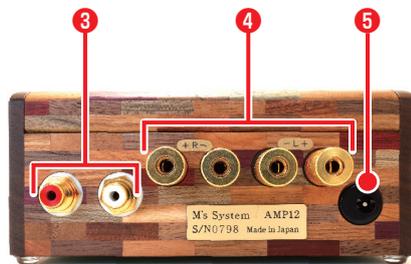


ストッパーアクセサリ

■ 各部名称



正面



背面

【正面】

- ① 電源スイッチ (上: ON 下: OFF)
- ② ボリュームつまみ (左に回しきるとボリュームゼロ、右に回すと音量が大きくなります)

【背面】

- ③ 音声入力端子 (LINE IN)  
音源機器 (CD プレイヤー等) を接続
- ④ スピーカー端子 (R・L)  
スピーカーケーブルでスピーカーと接続
- ⑤ 電源入力端子 (DC IN)  
付属の AC アダプターを接続

### 主な仕様

**MS1001 シリーズ**

サイズ: 210φ × 400mm  
重さ: 4,200g※  
再生周波数帯域: 80 ~ 22kHz  
許容入力: 15W、インピーダンス: 8Ω  
※仕様によって若干の差があります。

**RS0802 シリーズ**

サイズ: 160φ × 400mm  
重さ: 3,000g※  
再生周波数帯域: 110 ~ 22kHz  
許容入力: 15W、インピーダンス: 8Ω  
※仕様によって若干の差があります。

**MS-Amp12**

サイズ: 123 × 136 × 88mm  
重さ: 715g  
実用最大出力: 6W × 2  
入力端子: RCA 1 系統  
※つまみ含む

## 【スピーカーケーブルの接続方法】

### ◆スピーカーケーブルの接続方法（スピーカー）

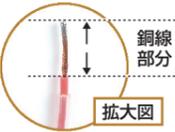


スピーカー端子のネジを左に回し、端子の穴が見えるまでゆるめてください。



端子の穴にケーブル先端の銅線部分のみを差し込み、ネジを右に回して締め付けてください。

※ ケーブルのビニール被膜がはさまらないように、銅線部分のみ差し込んで締め付けてください。



L (左) 側・R (右) 側それぞれ、赤色のケーブルは赤色の端子 (+ 側)、無色ケーブルは黒色の端子 (- 側) にそれぞれ接続してください。



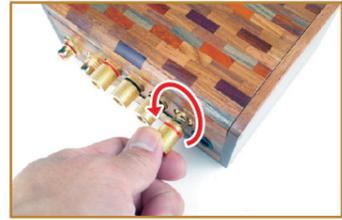
お手持ちのスマートフォンから QR コードを読み込んでご覧ください。



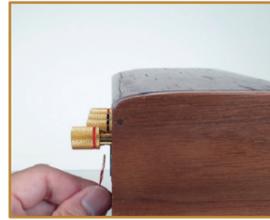
## ご使用上の注意

- ・スピーカーに指定された最大許容入力を越える音量は厳禁となりますのでボリュームの上げ過ぎは避け下さい。
- ・十分な音の広がりをお楽しみいただけるように、スピーカーの左右両側は出来る限りの空間を確保して設置してください。
- ・iPod 等のプレーヤーをアンプに接続する場合は、接続用のケーブルをしっかりと奥まで差し込んでから、アンプの電源を入れるようにしてください。
- ・アンプの電源が入った状態での、各種接続ケーブル (iPod 等含む) の抜き差しは絶対に行わないで下さい。
- ・音量を上げたままで、接続機器やピンジャック等の抜き差しは絶対に行わないでください。ビート音 (アースがかからない状態で、ホット側をタッチする時のノイズ音) による過大信号印加流れこみによる故障を防止できます。

### ◆スピーカーケーブルの接続方法（アンプ）

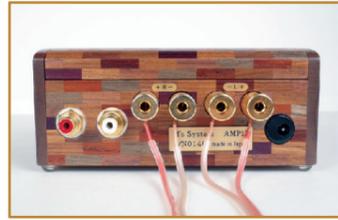


スピーカー端子のネジを左に回し、端子の穴が見えるまでゆるめてください。



スピーカーの L (左) 側に差し込んだケーブルを、アンプの L (左) 側端子の穴に赤と赤、黒と黒をそれぞれ対応させてケーブル先端の銅線部分のみを差し込んで、ネジを右に回して締め付けてください。R 側も同様に接続してください。

**Point** 接続後、スピーカー側・アンプ側ともにケーブルが抜けないか軽く引っ張って確認をしてください。



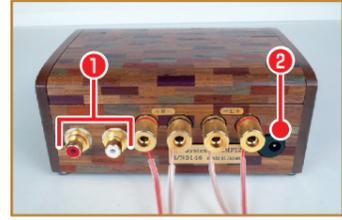
L (左) 側・R (右) 側それぞれ、赤色のケーブルは赤色の端子 (+ 側)、無色ケーブル (無色) は黒色の端子 (- 側) に対応して接続されているか確認して下さい。



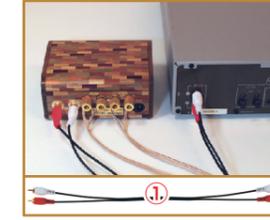
お手持ちのスマートフォンから QR コードを読み込んでご覧ください。



### ◆プレイヤーと電源の接続方法（アンプ）



①の音声入力端子 (LINE IN) にプレイヤーを、②の電源入力端子に AC アダプタをそれぞれ接続します。



プレイヤーの機種に合わせてプレイヤーの音声出力端子 (LINE OUT) は付属のオーディオケーブル ① で、または、プレイヤーのイヤホン/ヘッドホン端子 (LINE OUT または PHONE) はオーディオケーブル ② でアンプの音声入力端子 (LINE IN) と接続してください。



ヘッドホン/イヤホン端子がないスマートフォンと接続するには下記の市販のケーブルをご利用いただくことで接続いただけます。



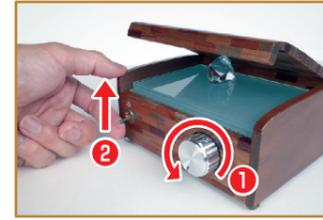
※ iPhone と Android スマートフォンでは、ご留意いただく専用ケーブルが異なりますので、ご注意ください。



詳細はコチラからご覧ください。

## 【アンプの使用方法】

### ◆電源を「ON」にする



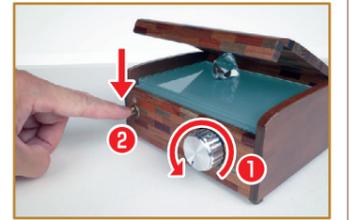
①スピーカーを過入力から保護する為、ボリュームつまみを一番左 (ボリュームゼロ) まで回しきってから、②電源スイッチを上げ、「ON」にしてください。

### ◆ボリュームを調整する



プレイヤーを再生し、アンプのボリュームつまみは9~12時の位置を目処に徐々にあげて、適音でお楽しみください。

### ◆電源を「OFF」にする



ご使用後は、①ボリュームつまみを一番左 (ボリュームゼロ) まで回しきってから、②電源スイッチを下げ、電源を「OFF」にしてください。

イヤホンは耳の安全を守るためイヤホン端子から出る音を控えめに作られている場合がありますので、iPhone や携帯オーディオプレイヤーなどのイヤホン/ヘッドホン端子につなぐ際には、プレイヤー側の音量を8~9割程度まであげてお楽しみください。

### ◆一般的なアンプ / コンポへの接続

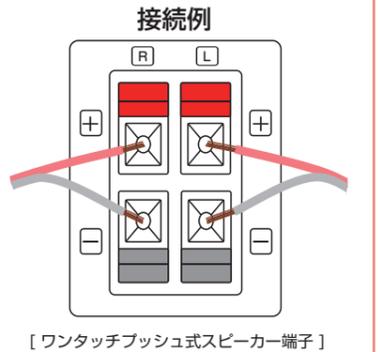
外部スピーカーの取り外しが可能な、家庭用のアンプ / コンポへスピーカーを接続してお楽しみいただけます。

アンプのメーカーや機種によって、接続端子の形状が異なる場合がございます。接続されるアンプ / コンポの取扱説明書をご参照くださいませ。

スピーカーと一般的なアンプの接続方法の動画です。



お手持ちのスマートフォンから QR コードを読み込んでご覧ください。



【ワンタッチプッシュ式スピーカー端子】

### ◆接続例

様々な機器と接続して、お楽しみいただけます。



スピーカー MS1001 シリーズ  
または  
スピーカーケーブル



スピーカー RS0802 シリーズ



コンポ



オリジナルアンプ  
または、  
一般的なアンプ



オーディオケーブル①



CD プレイヤー



コンポ



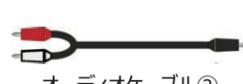
オリジナルアンプ  
または、  
一般的なアンプ



オーディオケーブル①  
光デジタルケーブル など



テレビ



オーディオケーブル②



モバイル機器・ノート PC 等

※ 音源機器 (CD プレイヤー、テレビ等) の音声出力端子 (LINE OUT) とアンプの音声入力端子 (LINE IN) を、対応しているオーディオケーブルで接続してご利用ください。より詳しくは、ご使用の機器 (テレビ、DVD プレイヤー、アンプ、コンポ等) の取扱説明書をご参照くださいませ。

## エムズシステム・サポートセンター

取扱い方法、製品の修理・サービスについて、ご相談を承っております。

営業時間: AM10:00 ~ 18:00 (定休日: 水曜)

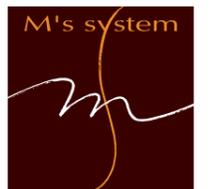
Eメール: support@mssystem.co.jp 電話: 03-5542-7432

ファックス: 03-5542-767

ホームページ: http://mssystem.co.jp

製造元: 有限会社エムズシステム 東京都中央区新富2-1-4

「故障かな?」と思ったら: http://mssystem.co.jp/about\_repair.html スマートフォンからはこちらの QR コードを読み込んでご覧ください。



# 安全上の注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人の死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落したり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものが入ったとき

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してからサポートセンターにご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



必ず実施

電源プラグの先端および先端付近に埃や金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

内部に水などの液体や遺物をいれない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

水をかけたり濡らしたりしないでください

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・調査・修理はサポートセンターにご依頼ください。



水ぬれ禁止

機器の近くに花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない。

こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

ご使用は正しい電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



必ず実施

電源ケーブルは大切に

電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。電源ケーブルが痛んだらすぐサポートセンターに交換をご依頼ください。



必ず実施

浴室・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

雷が鳴りだしたら

機器や電源プラグには触れないでください。



接触禁止



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず実施

電源ケーブルは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源ケーブルを接続するときはそれぞれの接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。

根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。また、電源ケーブルは束ねたまま使用しないでください。発熱し火災の原因となることがあります。



禁止

電源ケーブルを熱器具に近づけない

ケーブルの被ふくが溶け、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



濡れ手禁止

機器の接続は説明書をよく読んでから

テレビ・ビデオ・オーディオ機器などを接続する場合は、電源を切り各機器の取扱説明書に従って接続してください。また、接続には指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



必ず実施

この機器に乗ったりぶら下がったりしない

特にお子様のいる家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

ベンジン・シンナーなどの揮発性薬品で拭かない

火災・変色の原因となる事があります。機器についての汚れや埃は乾いた布で拭き取ってください。



禁止



必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。許容入力を超える音量は故障の原因となることがあります。



禁止

特定信号を連続して再生しない

テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定した信号を連続して再生しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは

電源ケーブルを引っ張らず必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、の原因となることがあります。



禁止

次のような場所には置かない。

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所
- 湿気や埃の多い場所
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所



禁止

自動車の中に放置しない

内部に熱がこもり、火災・感電・故障の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まずは電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間の外出・旅行の時、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。